



CDR Analysis and Reporting

Cisco CallManager Serviceability の CDR Analysis and Reporting (CAR) ツールは、サービス品質、トラフィック、ユーザの通話量、課金、およびゲートウェイについての情報のレポートを生成します。



(注) CAR は、iDivert コール (コールをボイス メッセージ システムに転送する機能) を処理せず、通常のコールとして扱います。iDivert 機能がアクティブになった後、コールの一部が正しい通話者に課金されないことがあります。

この章の構成は、次のとおりです。

- [CDR Analysis and Reporting \(CAR\) プラグインのインストール \(P.15-3\)](#)
- [CDR Analysis and Reporting \(CAR\) プラグインのアンインストール \(P.15-5\)](#)
- [CDR サービス パラメータの設定 \(P.15-6\)](#)
- [初期ユーザ ID とパスワードの利用 \(P.15-7\)](#)
- [CDR Analysis and Reporting ツールのロード \(P.15-8\)](#)
- [CAR へのログイン \(P.15-10\)](#)
- [CAR からのログアウト \(P.15-11\)](#)
- [CAR の詳細の表示 \(P.15-12\)](#)



(注) CAR レポートは、PDF 形式または CSV 形式のいずれかで表示できます。CAR レポートで表示可能なレコードの数は、PDF 形式で最大 5000 個、CSV 形式で最大 20,000 個です。レコード数がこの上限を超えると、レポート結果の切り捨てを通知するメッセージが表示されます。これを避けるには、レポートを生成する日付の範囲を狭めるか、PDF 形式を使用している場合は CSV 形式に変更します。

CDR Analysis and Reporting (CAR) プラグインのインストール

ここでは、Cisco CallManager Release 3.2 以降に CDR Analysis and Reporting (CAR) プラグインをインストールする方法を説明します。Cisco CallManager のアップグレードの詳細については、『*Cisco CallManager アップグレード手順*』の最新版を参照してください。



(注)

新しいバージョンの Cisco CallManager にアップグレードする前のシステムにおいて、以前は Administrative Reporting Tool (ART) という名称であった CDR Analysis and Reporting (CAR) が実行されている場合は、アップグレードプロセスにより、自動的に CAR がアップグレードされます。Cisco CallManager の初回インストールまたはアップグレードを行うときに、まだ CAR をシステムで実行していない場合は、Plugins ページから CAR をインストールする必要があります。

手順

- ステップ 1** [スタート] > [プログラム] > Cisco CallManager > CallManager Administration の順に選択して Cisco CallManager Administration を開き、管理権限を使用してログインします。
- ステップ 2** Applications メニューから、Cisco CallManager Serviceability を選択します。
- ステップ 3** Cisco CallManager Serviceability ウィンドウの Applications メニューから、Install Plugins を選択します。
- ステップ 4** CDR Analysis and Reporting (CAR) プラグインの隣にあるアイコンをクリックします。
- ステップ 5** 現在の場所からプログラムを実行するか、プログラムをディスクに保存するかを選択します。



(注) CAR は、CDR データベースが格納されている Cisco CallManager パブリッシュだけにインストールする必要があります。

ステップ 6 OK をクリックします。



(注) CAR は、Cisco Tomcat Web サーバをインストールしませんが、Cisco CallManager によってインストールされた Cisco Tomcat サービスを使用するため、Cisco Tomcat サービスが実行されている必要があります。CAR のインストール / アンインストールの実行中は、Cisco Tomcat サービスを使用する他のアプリケーションにはアクセスできません。これは、CAR のインストール / アンインストールによってこのサービスが一時的に停止されるためです。

関連項目

- [CDR Analysis and Reporting \(CAR\) プラグインのアンインストール \(P.15-5\)](#)

CDR Analysis and Reporting (CAR) プラグインのアンインストール

Control Panel の Add/Remove programs アプリケーションから、CAR をアンインストールできます。ここでは、CAR をアンインストールする方法を説明します。

手順

-
- ステップ 1** [スタート] メニューから、[設定] > [コントロール パネル] の順に選択します。
- [コントロール パネル] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。
- [アプリケーションの追加と削除] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** CDR Analysis and Reporting ツールが見つかるまで下へスクロールし、[変更と削除] をクリックします。
-

関連項目

- [CDR Analysis and Reporting \(CAR\) プラグインのインストール \(P.15-3\)](#)
- 『Cisco CallManager Serviceability システム ガイド』の第 10 章「Quality Report Tool」

CDR サービス パラメータの設定

CAR では、プライマリ CDR サーバの CDR データベース内で CDR レコードが使用可能である必要があります。CAR が正しく動作するためには、CDR サービスパラメータのデフォルト値を変更する必要があります。



(注)

サービス パラメータ `CDREnabled` および `CallDiagnosticsEnabled` のデフォルト値は `disabled` であるため、CAR が CDR レコードを使用できるようにするには、これらのサービス パラメータを使用可能にする必要があります。

CDR データベースに CDR レコードを書き込むようにするには、表 15-1 の説明に従ってサービス パラメータを設定してください。

表 15-1 CDR サービス パラメータ

パラメータ名	パラメータ値
LocalCDRPath	有効なパス名を指定します。
Primary CDRUNCPath	有効なパス名を指定します。
CDRFormat	値 Database を入力します。
PrimaryCDRDSN	プライマリ CDR サーバを指すディレクトリサービス番号を指定します。
CDREnabled	このサービスを使用可能にします。
CallDiagnosticsEnabled	このサービスを使用可能にします。

初期ユーザ ID とパスワードの利用

CAR 管理者だけが CAR の管理特権を持っています。個々のユーザは、Cisco CallManager Administration へのアクセスに使用するユーザ ID とパスワードを使用して CAR にログインできます。ただし、CAR 管理者だけが個々のユーザに管理特権を付与できます。CAR の初期のログオンでは、特定のユーザ ID とパスワードを使用する必要があります。



(注)

ユーザに管理特権を付与するには、まず、初期のユーザ名とパスワードとして **admin** を使用して CAR にログインする必要があります。このユーザ名とパスワードを使用して CAR にログインし、ユーザに初めて CAR 管理者権限を付与します。このユーザ ID とパスワードは、システムに CAR 管理者が設定されていない場合に限り有効です。1 人または複数のユーザに管理者権限が付与されると、この初期ログオン (**admin**、**admin**) は使用不可になります。その時点で、CAR 管理者 (**admin**、**admin** を使用して最初に CAR 管理者権限を付与されたユーザ) だけが、他のユーザに管理者権限を付与できるようになります。

ユーザに管理特権を付与する方法については、P.16-2 の「[管理者権限の付与](#)」を参照してください。

CDR Analysis and Reporting ツールのロード

管理者は CAR に Serviceability ツール メニューからアクセスします。CAR メインメニューが表示されたら、CAR にログインする必要があります。Cisco CallManager Administration 内のユーザ プロファイルにより、CAR 用のユーザ ID とパスワードが決まります。P.15-7 の「初期ユーザ ID とパスワードの利用」を参照してください。

CAR がサポートしている 3 種類のユーザは、システム管理者、個人、およびマネージャです。

許可レベルにより、CAR レポートへのアクセス基準が次のように決まります。

- 個々のユーザは、自分の通話に関する課金情報を表示または生成できます。
- マネージャは、自分のグループ内のすべてのユーザに関するレポートと課金情報を表示できます。
- CAR システム管理者は、すべての機能を使用できます。

管理者の手順

ここでは、管理者が CAR をロードする方法を説明します。Cisco CallManager Serviceability プログラムの Tools メニュー項目の下に、CAR がリストされています。

手順

ステップ 1 Cisco CallManager Administration ウィンドウから、**Application > Cisco CallManager Serviceability** の順に選択します。

Cisco CallManager Serviceability ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 **Tools > CDR Analysis and Reporting** を選択します。

ツールが表示されます。



(注) マネージャと個人ユーザに、CAR のブラウザに使用する Web アドレスを通知する必要があります。

ステップ 3 CAR にログインします。P.15-10 の「CAR へのログイン」を参照してください。

関連項目

- 初期ユーザ ID とパスワードの利用 (P.15-7)
- 管理者とユーザの手順 (P.15-9)
- CAR へのログイン (P.15-10)
- CAR からのログアウト (P.15-11)

管理者とユーザの手順

ここでは、管理者とユーザが CAR をロードする方法を説明します。管理者は、Serviceability メイン ウィンドウから CAR をロードすることもできます。P.15-8 の「管理者の手順」を参照してください。

手順

ステップ 1 Web ブラウザで、<https://<Server-ip/name>/art/Logon.jsp> と入力します。

CDR Analysis and Reporting ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 CAR にログインします。P.15-10 の「CAR へのログイン」を参照してください。

関連項目

- [初期ユーザ ID とパスワードの利用 \(P.15-7\)](#)
- [管理者の手順 \(P.15-8\)](#)
- [CAR へのログイン \(P.15-10\)](#)
- [CAR からのログアウト \(P.15-11\)](#)

CAR へのログイン

ここでは、CAR へのログイン方法を説明します。

手順

ステップ 1 CAR ログイン ウィンドウの User Name フィールドに、ユーザ ID を入力します。

ステップ 2 Password フィールドに、パスワードを入力します。

ユーザ ID またはパスワードが無効な場合、CAR のエラー メッセージ「Invalid Logon.Either the User Name or Password entered is invalid.Click here to try again.」が表示されます。別のユーザ ID またはパスワードを入力し、**OK** をクリックします。

CAR ウィンドウが表示されます。

関連項目

- [初期ユーザ ID とパスワードの利用 \(P.15-7\)](#)
- [CDR Analysis and Reporting ツールのロード \(P.15-8\)](#)
- [CAR からのログアウト \(P.15-11\)](#)

CAR からのログアウト

ここでは、CAR からログアウトする方法を説明します。

手順

ステップ 1 CAR ウィンドウで、**Logout** を選択します。

ステップ 2 プロンプトとともにメッセージ「For security reasons, it is advisable to close the browser window on Logout. Do you want to close the browser window?」が表示されます。ブラウザ ウィンドウを閉じるかどうかを選択します。OK をクリックした場合は、CAR ウィンドウ（ブラウザ）が閉じます。OK をクリックしなかった場合は、CAR Logon ウィンドウが表示されます。

関連項目

- [初期ユーザ ID とパスワードの利用 \(P.15-7\)](#)
- [CDR Analysis and Reporting ツールのロード \(P.15-8\)](#)
- [CAR へのログイン \(P.15-10\)](#)

CAR の詳細の表示

ここでは、CAR の詳細情報の表示方法を説明します。

手順

ステップ 1 CAR ウィンドウから、**Help > About CAR** の順に選択します。

ステップ 2 **Details** ボタンをクリックします。

About ウィンドウに、次の情報が表示されます。



(注) 問題の報告またはトラブルシューティングを行う場合は、次の情報をテクニカルサポートにご連絡ください。

- CDR Analysis and Reporting version:X.X (X はバージョン番号)
- データベース情報
 - Driver:sun.jdbc.odbc.JdbcOdbcDriver
 - Server:<server name>
 - Name:art
 - Version:X.X(X) (X はバージョン番号)
- サードパーティ製ソフトウェア
 - Tomcat:X.X.X Apache (X はバージョン番号)
 - JRE:X.X.X_XX Sun Microsystems (X はバージョン番号)
 - StyleReport:X.X InetSoft Corp. (X はバージョン番号)

ステップ 3 **OK** ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じます。
